



わかなの外観と生活



# 新しい家で生活スタート 6人の若い芽、すくすくと育て!

約400の施設を運営している済生会で唯一の児童養護施設・〈静岡〉川奈臨海学園。国は社会的養護を担う児童養護施設の小規模化、地域分散化を進めています。4月1日、静岡県済生会は地域小規模児童養護施設わかなの開設。3月28日に行



も虐待や貧困を理由に、児童相談所を通して都道府県等が入所措置する施設。平成29年10月現在、全国605施設に3万2000人の子どもたちが暮らしています。川奈臨海学園では、令和2年3月末現在、3〜18歳まで46人

児童養護施設は保護者がいなかったり、い

も虐待や貧困を理由に、児童相談所を通して都道府県等が入所措置する施設。平成29年10月現在、全国605施設に3万2000人の子どもたちが暮らしています。

65年前の昭和30年10月、虚弱児施設としてスタートし、平成10年の児童福祉法の改正で児童養護施設に移行した「静岡県川奈臨海学園」は、伊豆半島の東岸中部、伊東市にあり、ここから巣立った子どもたちは約2500人にもなります。

なわれた開所式を取材しました。  
（本部広報室 河内淳史）

の児童が43人の職員と共に暮らしています。ここでの生活は毎朝6時40分に全員そろって朝食をした後、幼稚園やそれぞれの学校に通い、夕方、帰ってきたら小学生以上は自習と部屋の掃除をします。夏はキャンプ、冬はクリスマス



開所式で子どもたちを代表して挨拶した女子中学生



竹居施設長

地域小規模児童養護施設「わかな」のスケジュール

時間	平日	休日
6:30	起床	
6:40	朝食	
7:00	登校	起床・朝食
8:30		部屋片づけ
10:00		おやつ
11:00	当直職員出勤	当直職員出勤
12:00		昼食・内服
15:00		おやつ
15:30	(小)下校・宿題・登校準備	
18:00	夕食・内服	夕食
18:30	入浴	入浴
19:00	おやつ	
~21:00	掃除・片付け・就寝準備	掃除・片付け・就寝準備
21:00	(小)消灯、就寝	(小)就寝(休日前夜は23時、低学年は22時)
22:00	(中)(高)自習	
23:00	(中)(高)各部屋の消灯	消灯

(小)…小学生、(中)…中学生、(高)…高校生



会といった行事の他、近隣の企業や団体がバーベキューを行なうなど子どもたちの思い出作りに一役買ってくれています。そんな川奈臨海学園から車で

伊東市鎌田地区がサポート

地域小規模児童養護施設とは、

約15分、伊豆急行・南伊東駅近くに地域小規模児童養護施設「わかな」が4月1日に開所。6人の子どもが川奈臨海学園を離れ、職員と新たな生活を始めました。

3月28日に現地で行なわれた開所式で、鎌田地区に住み川奈臨海学園の前施設長でもある白井哲さんが地区を代表し、「とても素敵な家ができてよかったですね。みんな仲良く元気で暮らしてください」と子どもたち



地域の民間住宅等を活用して家庭に近い環境で養育するところ。「わかな」には6人の子どもが当直も含めた4人の職員と生活を共にします。伊東市鎌田地区の住民に見守られながら、「わかな」は新生活をスタートしました。

平成28年の児童福祉法の改正では、「新しい社会的養育ビジョン」として、子どもが権利の主体であること、子どもの家庭

国は家庭的な養育環境を求めている……

にエールを送りました。影山武司支部長は「温かい目で子どもたちを見守っていただき、職員にも気軽に声をかけていただきたい」と来賓者を前に感謝を述べ、子どもたちを代表し挨拶した中学1年の生徒は「私は家が建つまで先生と一緒に来ていて楽しみにしていました。きれいな建物なのできれいなまま保ちたい」と話しました。



鎌田地区に住む白井前施設長も子どもたちを見守る



スポーツ  
リハビリ

奈良病院  
副院長  
岡橋孝治郎

合言葉は「絶対に復帰するぞ!」。スポーツ選手の競技復帰と再発予防を目的に、2015年4月1日、スポーツ障害に特化した「スポーツリハビリテーション部（スポリハ）」を開設。対象はオリンピック選

## 合言葉は「絶対に復帰するぞ!」 選手の背景まで丸ごと支える

手から中高齢のスポーツ愛好家までさまざまです。部は、松井智裕整形外科部長と筆者の2人の医師と、スポーツを愛するPT4人（うち2人はアスレチックトレーナー）の総勢6人。年間延べ約1200人の患者さん

と日々奮闘中です。スポーツ復帰を果たす条件として、手術の精度はもちろん、低下



開所式後に行なわれた建物見学

養育優先の原則が明記され、児童養護施設にも家庭的環境の整備が求められています。家庭的養護を目指す一方で課題も。「わかな」が苦労したのは物件探し。国の基準では、原則一部屋2人まで。居室面積は一人当たり4・95㎡以上で別居間・食堂等子どもたちの交流する場所を有していることなど条件があります。宿直の部屋も含めると最低でも6畳の部屋が三つ以上の4LDKの建物が必要ですが、基準を満たす物件はなかなか見つかりません。「わかな」は行政や地域との協議を重ねながら2年間かけて事業に協力してくれる家主を見つけ、



影山支部長から感謝状を受け取る家主の冨田さん

開所にこぎつけました。同学園の竹居昭子施設長は「『わかな』は若い芽がすくすくと育つように、また、本体の川奈の三文字

から名付けました。地域の皆様  
に感謝し、一生懸命子どもたち  
と一緒に生きていきます」と話  
していました。

### 不安もあるけれど……

「わかな」で暮らす小学5年生  
の児童は「小学校を転校するこ  
とになって新しい友達ができる  
か不安だけど、ここでの生活が  
楽しみ」と話していました。  
「わかな」の建物オーナーの冨  
田君子さんは「この家で楽しく  
暮らして世の中の人のためにな  
るような人間に育ってほしい」  
と、笑顔で新たな生活をスタ  
ートする子どもたちにエールを送  
りました。